

①三共精機の社会貢献、CSR 等の取組方針・取組状況

私達の社は「よく学びよく働きよく生きる」です。弊社の仕事は「ものづくりの課題解決」業ですが、この仕事は地球環境の保全と直結すると考えます。21 世紀の持続的な発展は地球環境との共存なしにあり得ないからです。この観点で私達は 2002 年から京都の KES 活動に取組み、環境活動と事業活動の両輪の成長を大切にしてきました。またその活動を実感しそれを発信できる、「人の育成」にも注力してきました。具体的なこれらの活動は、京都 HP 大賞最優秀企業賞(2005)、京都オスカー賞(2008)、京都環境賞(2009,2010)、京都府環境トプランナー表彰(2010)、京都府「知恵の経営」認証(2011)の評価につながりました。2012 年度は国際インターンシップ生を受入れと環境活動を絡めた新たな企画を実施し、担当した同志社大学アイセックのメンバーはこの活動で、「アイセック関西アワード 2012 最優秀受入れ部門賞」を受賞。事業と人と社会とのより実践的なつながりをこれからも模索して行きたいと思えます。

②京都モデルフォレスト活動としての取組み

私達は 2008 年 3 月から南丹市美山地区で活動を始めました。2008 年度はちょうど弊社設立 60 周年に当たり、それにふさわしい企画をと様々な検討をしていた時に、この活動を知りました。60 年というのは人間で言う「還暦」です。これからはここまで存続させてもらった社会に対し、何かを「還元する」活動も行いながら成長を続けたい、そんな想いをこの活動で具体化させようと思いました。弊社が行っている、「使用済み切削工具のリサイクル回収」参加企業様に声をかけて理解を求め、この活動資金として回収代金を一部活用させていただくことにもなりました。「ものづくり」に携わる仕事だからこそ、私達の業種こそ地球環境の保全に目を向けなければならない。モデルフォレスト活動では、山の中で木や土や空気実際に触れ、季節の流れや自然の摂理など多くのことを感じることができます。この学びこそ、次の時代を担う人達に必要な「知」だと思っています。

③モデルフォレスト活動への想い

私達は美山でのこの活動を「つながりの森づくり」と名付けました。この名前は当初、この活動で共に活動をするご縁をいただいた、佛敎大学や京都府や南丹市や美山の地元の方々、「つながり」を持たせたことが何よりも良かったという実感から生まれました。そして更に話し、この「つながり」には 3 つの意味があると考えました。まず「人と自然」とのつながり。我々企業人と普段あまり触れられない自然とのつながり。次に「人と人」とのつながり。美山を通じて様々な関係者が出会えるつながり。最後に「現在と未来」とのつながり。これは植えた木の成長と同時に、植えた人の未来へのつながりのことです。例えば社員と社員が連れて来る子供達とのつながりもそう。だから私達の活動では、植林や間伐や下草刈りの作業の他に、季節に応じて BBQ や飯盒炊飯や川遊びなどを参加者みんなで楽しみます。活動後みんなが笑顔になっている、そんな想いで続けたいと思っています。



国際インターンシップ生、・AISEC メンバー & 社員、ひと息集合写真！



お子さんも五感で自然を感じながら頑張っています！



みんなで協力して楽しみながら活動しています



代表取締役社長 石川 武



飯盒炊飯のレクチャーをしていただき、炊き立ておいしいご飯を頂きました

活動データ

◆企業団体

三共精機株式会社

〒601-8328 京都市南区吉祥院九条町 49 番地

◆協定

締結年月日 2008 年 2 月 5 日

メンバー (佛敎大学、みやわき billy、南丹市、京都府)

◆活動フィールド

南丹市美山町宮脇



活動後全員での集合写真